取扱説明書

No.２２０１１１

コゾウリフター

BEN-P150,BEN-P200

この度は、コゾウリフターをお買い上げ頂きましてありがとうございました。
本機を安全に、能率よくご使用頂くために、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。

注意

●取扱説明書は大切に保管し、よく活用してください。
●取扱説明書は最終ユーザーに必ずお渡しください。
●取扱説明書や警告ラベルを破損・紛失した場合には、ただちに購入店に注文してください。
●取扱説明書で使用方法に不明な点や疑問点がある場合は、購入店にお問い合わせください。

1 運送上の注意

●車から下ろす時は、傾けたり倒したりしないでください。
バッテリーを搭載していますので傾けるとバッテリー液が漏れるおそれがあります。バッテリー液は希硫酸です。
皮膚や身体に付着するとやけどの原因となることがあります。
下ろすときはクロスビームを吊り上げてください。
●車で搬送するときは風圧でフロントパネルが破損するおそれがありますのでカバーで覆ってください。

2 各部の名称

ユニットケース内

＊実際の商品と写真では一部異なります。

品番　品名

①マスト
②フォーク
③昇降枠
④固定車輪
⑤脚
⑥クロスビーム
⑦ローラチェーン
⑧フロントパネル
⑨ハンドル
⑩ﾚﾘｰｽﾞﾊﾝﾄﾞﾙ
⑪ﾌﾞﾚｰｷ付自在車輪
⑫ﾓｰﾀｰｶﾊﾞｰ
⑬ﾊﾞｯﾃﾘｰ残量計
⑭ユニットケース
⑮レバースイッチ
⑯充電器
⑰充電用ｺｰﾄﾞﾘｰﾙ
⑱シリンダー
⑲バッテリー

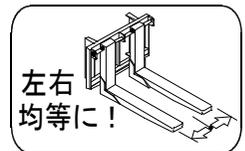
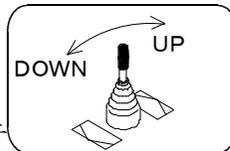
3　安全上の注意事項

●平坦で堅固な舗装路面で使用してください。
●爆発性雰囲気中では使用しないでください。
●許容荷重以上は載せないでください。許容荷重はロードセンターに依って決まります。
●許容荷重内でも、できるだけフォークの根本側に荷重がかかるように積載してください。
●屋内専用です屋外では使わないでください。
●フォークの下に立ち入らない。乗らない。
●傾斜地では使わないでください。転倒事故のおそれがあります。
●積み荷は片荷や集中荷重にならないよう注意してください。
●リフターの可動、昇降部分は危険です。絶対に手足を入れないでください。メンテナンス時には、挟まれないよう二重三重の安全対策を施して下さい。
●充電中は絶対にリフターを昇降させないでください。充電器が破損します。
●駐車時は必ず車輪のブレーキを掛けてください。
●こどもにはさわらせないでください。
●溶接作業を行う場合には基板等の電気部品を全て外してください。
その際必ず電源（バッテリー）線から外してください。
●保守、点検は専門知識と技能を持った人が実施してください。
けが、火災、装置破損のおそれがあります。
●昇降板を上げたまま、モーターを外さないでください。油圧リフターと違い、外した瞬間に落下し、人身事故の恐れがあります。
●異常を感じたら直ちにお買い求めの販売店にご連絡ください。

－注意－
許容荷重はロードセンターに依って決まります。本体 に貼ってある荷重曲線図を参照ください。

4　操作方法

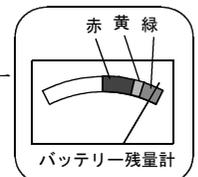
●レバースイッチを”**UP**”の方向へ倒すと上昇し、”**DOWN**”の方向へ倒すと下降します。
リフトが上限・下限に達したら速やかにスイッチを放してください。
●フォークはスライド式です。通常はいっぱいまで広げ最大幅で使用してください。縮めるときは片荷にならぬよう左右均等にしてください。

左右
均等に！

注意
1:上昇端・下降端のリミットスイッチは出荷時に限界値で設定してあります。調整する場合は限界値を越えないように注意してください。限界値を越えますと破損の原因になります。
2:昇降スタート時、停止時に電磁ブレーキの開閉音(ｶﾁｯ)がしますが異常ではありません。
3:上限・下限に達したら速やかにスイッチを離してください。アラームの原因になります

●過電流検知
上昇・下降共に過電流を検知すると昇降を停止します。反対側にレバースイッチを入れると解除されますが、必ず、過電流となった原因を確認し、対策を行ってから、ご使用になってください。
過電流をたびたび発生させますと、基板等の焼損につながります。

5　充電の方法

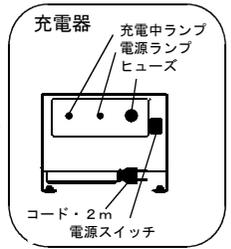
◆バッテリー残量計付

1:残量計はバッテリーを消費すると指針が左に振れ、おおまかなバッテリー残量を指します。（目安）
2:バッテリー残量計は最大許容荷重を積載し、上昇する時の指針の位置がもっとも正しいバッテリーの残量を指します。
3:レッドゾーンに指針が振れるようになりましたら、直ちに運転を止め充電してください。

◆バッテリーの容量

バッテリーは深く放電するほど寿命は短くなります。７５％放電深さで寿命サイクル数は約５００サイクルです。新品は容量の１００％放電できますが、古くなるに従い放電量は少なくなります。また温度にも大きく影響を受けます。３０℃で１００％、０℃で８０％、－１５℃で６０％と大幅に低下し寿命も短くなります。バッテリーの保守・管理には注意してください。

◆バッテリーの充電

1，ユニットケースを開け、充電コードを引き出してＡＣ１００Ｖのコンセントに差し込み、充電器の電源スイッチを入れてください。電源ランプと充電中ランプが点灯し自動的に充電を開始します。充電時間は０～１０時間です。放電状態や気温・バッテリーの古さなどで充電時間は変わります。

2，充電中ランプが消えると充電は完了です。充電器の電源スイッチを切った後コードを収納してください。充電中ランプは充電量によって点滅することがあります。

注意 充電中は絶対にリフターを昇降させないでください。充電器が破損します。

警告

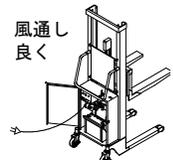
1，充電は屋内の風通しが良く、乾燥した直射日光の当たらない場所で、ケースの扉を全開にして行ってください。

2，充電コード長さは２ｍです。無理に引き出さないでください。

3，バッテリーから水素ガスが発生します。絶対に火気を近づけたり短絡（ショート）させないでください。引火、爆発することがあります。充電中は操作しないでください。

4，バッテリー液（希硫酸）が目・皮膚・衣類に付かないように注意してください。失明や、やけどをすることがあります。誤って付着したときは直ちに多量の水で洗い流し、医師の診断を受けてください。

5，バッテリーの過放電はしないでください。使い過ぎてそのまま放置すると寿命は著しく低下します。バッテリーは使用しなくとも自己放電します。１週間に一回補充電してください。

6，バッテリーの液面は週１回点検し、不足している場合は精製水を６ヶ所の漕の UPPER レベルまで補水してください。

6 保守点検

点検は必ず無負荷の状態にし、安全に充分注意して行ってください。バッテリーの保守点検時には、必ず保護めがね・ゴム手袋などの保護具を着用してください。

日常点検	定期点検（稼働時から１ヶ月、３ヶ月及び１年毎）
■リフトの昇降動作に異常はないか。	■各接続部のボルト、ナット等の破損やゆるみはないか。
■周囲に傷害物はないか。	■可動部に異常摩耗はないか。
■本体外観上に異常はないか。	■溶接部の亀裂や破損はないか。
■異常音や異常発熱はないか。	■電気配線等に亀裂や破損はないか。
■車輪の回転に異常はないか。	■ローラチェーンにグリースを塗布してください。
■バッテリー残量計は緑色か。	■バッテリーの液量は正常か。（毎週）

危険

●制御ボックスの基板には、電源を切っても完全に放電（基板のＬＥＤが消灯）するまでさわらないでください。感電のおそれがあります。

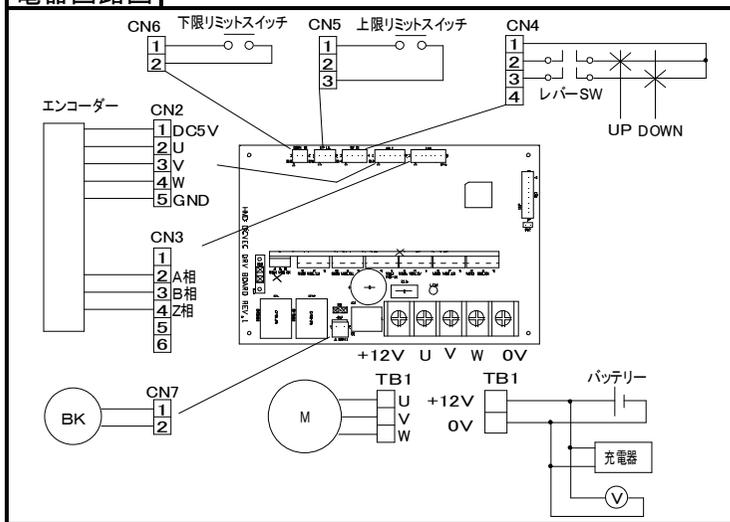
●昇降板を上げたまま、モーターを外さないでください。油圧リフターとは違いますのでテーブルは即落下します。

※ドライシリンダーのギヤ部とボールねじ部には長寿命グリースを封入していますから、補給なしで長時間安心してご使用頂けますが、１年を目安にオーバーホールを実施して頂くか、ドライシリンダーを新品に取り替えてください。

7 仕様

L、C＝ロードセンター

型式	許容荷重 (kg)	フォーク,テーブル寸法(mm) 長さ L,C	L	高さ MIN-MAX	上昇時間 負荷 無/全 (秒)	バッテリー	自重 (kg)
BEN-P200-9	200	300	600	71-900	14/14	30A19R/L	76
BEN-P200-12	200	300	600	71-1200	19/19	30A19R/L	79
BEN-P200-15	200	300	600	71-1500	24/24	30A19R/L	82
BEN-P200-9T	200	300	620	85-903	14/14	30A19R/L	88
BEN-P200-12T	200	300	620	85-1203	19/19	30A19R/L	91
BEN-P200-15T	200	300	620	85-1503	24/24	30A19R/L	94
BEN-P150-12-5H	150	300	600	50-1179	19/19	30A19R/L	81

電器回路図

充電器	
入力	AC100V,2A
出力	DC12V,4.5A
ヒューズ	10A

品　質　保　証　書

お買い上げ日より１年以内に正常な状態で使用して故障し、弊社がその欠陥を認めた場合には無償修理致します。

お買い上げ年月日	年　　月　　日
型番	ＢＥＮ－Ｐ　　　－
お客様	ご住所 お名前　　　　　様
販売店	住所 店名 ＴＥＬ　　　印

＜無料修理規定＞

１．取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げ販売店が無料修理致します。

２．保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にご依頼ください。
　なお、離島及び遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。

３．ご贈答品等で、お買い上げ販売店に修理依頼ができない場合には、本書に記載されている本社もしくは各営業所、サービスセンターにお問い合わせください。

４．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（イ）使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障、及び損傷。
（ロ）組立・取り付け不備による故障、及び損傷。
（ハ）お買い上げ後の場所移動、落下等による故障、及び損傷。
（ニ）火災・地震・水害・落雷その他天災地変・公害による故障及び損傷。
（ホ）本書の提示がない場合。

５．日本国以外で使用された場合、すべてに責任を負えません。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理についてはご不明な場合は、お買い上げ販売店または本書に記載の本社もしくは各営業所、サービスセンターにお問い合わせください。

総発売元 トラスコ中山株式会社
〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1丁目34番15号
E-mail:techno.center@trusco.co.jp
お客様相談室 0120-509-849